

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和3年4月30日



# 学校だより

## 5月号

Email [y3motois@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3motois@edu.city.yokohama.jp)

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

## 小さな「かかわり」を大切に

副校長 藤本 光子

校庭のけやきを揺らす風が肌に心地よく感じられるころとなりました。休み時間になると子どもたちが青空の下、元気いっぱい遊ぶ姿が見られます。まだ感染症対策を徹底しなければならぬ状況ですが、昨年度とは違って、制限がありながらも4月から新年度が滞りなく始められたことに一安心しております。

今年度より、副校長として着任いたしました。このひと月の間、すでに、はぐくみの会役員の方や地域の方の温かいご支援をいただきながら活動しております。どうぞよろしくお願いいたします。さて、私は業務上、職員室にすることが多く、元石川小学校に来て間もないこともあって、子どもたちとのかかわりはまだ少ないです。ですが、ちょっとした場面で心がほっこりと温まることがあります。

先日、こんな場面に出会いました。ある子どもが委員会活動に取り組むために、職員室にカギを借りに来ました。その際に、もう一人別の子が付き添って、そのカギを借りに来た子の後方から何らかの声をかけていることに気づきました。耳を澄ませていると、「(カギを)取るときに、この名札をかけて…返す時には、その逆で…」と聞こえてきました。その付き添いの子はカギの借り方、ルールを教えていたのです。職員室ということもあってか、小さな控えめな声でした。また、教えてもらっている方の子も真剣に聞き、最後にしっかりとうなずきました。ほんの1分ほどのやりとりでしたが、子どもたちのちょっとした素敵なかかわり方に心を奪われました。初めてのことをするとき優しく教えてくれる友達がいたことは、とても心強かったです。

私は、人とかかわるときは、大人も子どもも同じ気持ちになると思っています。あいさつを交わすと気持ちがよくなる、「大丈夫?」と声をかけてもらえると安心する、誰かの役に立てるとうれしくなる…。こういった感情は誰にでも生まれるものです。年度の切り替わりには、学年が上がり、新しいことが増え、子どもたちはやる気に満ち溢れます。しかし、活躍したい気持ちはあるものの、環境の変化から十分に活動したり意見を言ったりできない子もいます。そんな時、支えになるのは小さな「かかわり」だと思います。特別なことをするわけではなく、ほんの少しの思いやりやちょっとした言葉をかけることで安心につながります。私も新しい環境が決して得意ではなく、自分を出せるようになるまでに時間がかかる子でした。けれども、先生や友達が声をかけてくれたおかげで徐々に慣れ、自分のペースで居場所を作り、力を発揮できるようになりました。

小さな「かかわり」を大切にすることは、一人一人をしっかりとつなぎ、よりよい集団を作っていきます。そして、子どもたちの「かかわり」は小さいからこそ私たち大人が見落とさずに拾い、大きく褒めて伸ばしていきたいと思えます。

今後も元石川小学校の子どもたちの素直できらりと光る「かかわり」を発見し、のびやかに広げていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。